

令和6年6月24日

令和6年能登半島地震災害に係る復旧・復興事業に対する 公益社団法人日本測量協会の対応について

能登半島地震災害の復旧・復興事業への支援について、令和6年1月から6月までの対応状況は以下のとおりです。

1. 月刊『測量』における関連記事の掲載

- ・特別企画「令和6年能登半島地震」を4月号に掲載、地震の特徴と課題、国の関連機関の対応、企業の対応、現地の対応、について掲載。
- ・日刊建設工業新聞社と共同で「令和6年能登半島地震 現地取材」を掲載（5、6月号）。

2. 義援金の拠出

- ・日本赤十字社に義援金拠出。
- ・当協会正会員2名、特別会員1社に義援金拠出。

3. 無償による測量機器の点検

- ・測量機器の点検は北陸支部において1件（レベル2台）を実施。

4. 復旧・復興測量に適用する検定料金

- ・表記検定料金は、4月から5月末までの2ヶ月間において7件の業務に適用。成果検定は全て北陸支部にて実施。
- ・国土地理院ホームページ（公共測量実施計画）の情報には、災害復旧・復興に関連する事業も掲載されており、適用事例が増えるものと想定されます。

5. 技術的な相談

- ・北陸支部では22件の相談を受けました。相談の内容は、初期は測量成果停止地域の公共測量の計画や測量済みの測量成果の整理方法、三角点成果の改定と変動補正パラメータ公開（令和6年2月）後はその適用方法に関するものです。
- ・測量技術センターでは変動補正パラメータ適用等に関して2件相談を受けました。